

〔様式2〕令和5年度 羽村市立 武蔵野小学校 学校経営計画（学校評価計画表） 学校教育目標 ◎よく考える子 ○思いやりのある子 ○健康な子

【目指す学校像】 笑顔あふれる学校
 【目指す児童像】 ○学ぶ意欲あふれる児童 ○明るい笑顔とやさしい目をした児童 ○決まりを守り、互いを尊重し合える児童 ○強い体と心をもった児童 ○いかなる差別や偏見をしない・許さない児童
 【目指す教師像】 ○児童の学びに心をこめて教える教師 ○一人一人を大切に、又、抜くことのできる教師 ○組織の一員としての意識をもち、職場に心を入れこむことのできる教師 ○服従規律を重んじ、児童・保護者の信頼に心懸ける教師 ○教養を向上させ、ゆとりある精神状態で指導に当たる教師

前年度までの学校経営上の成果と課題【成果】・新しい教育に向け、授業改善への意識の高揚 ・社会とつながるプロジェクトの確立 ・端末を中心としたICTの効果的な活用方法の確立 ・地域人材の発掘
 (簡条書きで簡潔に) 【課題】・身に付けさせたい資質・能力を意識した授業実践 ・児童が自ら思考し、豊かに表現する力の育成 ・個別最適、協働的な学び、時間と空間を超えた端末利用 ・心身ともにゆとりをもって児童とじっくり対面するための働き方改革

3つの施策	中期経営目標(施策の内容)	短期経営目標(今年度の取組)	具体的方策	「取組・努力」の評価基準(学校・教職員の姿勢、取組状況)	評価方法	「成果」の評価基準(児童・生徒の変容)	評価方法
小中一貫教育を柱とした特色ある教育の推進	①小中一貫教育の推進	・羽村三中校区小中一貫教育の強化連携の重点化と推進 ・中一ギャップをなくすための取組の推進 ・学校運営連絡協議会の機能の充実と地域に開かれた教育課程の発信 ・地域人材を活用した積極的な授業改善	・子供たちに身に付けさせたい、9年間のゴールの明確化 ・乗り入れ授業(数学、理科、英語)や授業観察の実施 ・学習コーディネーターと連携した「出前授業」「補習等学習支援活動」「登下校安全確保」「環境整備」などの実施 ・地域人材の発掘と地域住民が協力・参画できる体制づくり	・「9年間のゴール」を見据えた小中9年間カリキュラムを計画的に実施している。 ・高学年の乗り入れ授業を3教科×2回実施する。 ・地域人材を活用した授業を企画、実践している。 ・積極的に保護者・地域に授業を公開し、学習につながる人材を発掘している。	4 3 2 1	・ゴールに向かった自身の力が身に付いている。 ・中学進学イメージを具体的に描けている。 ・地域の協力やかかわりの中で、児童が豊かに学んでいる。 ・保護者、地域が参画する授業が充実している。	4 3 2 1
	②確かな学力の定着	・学びを生かそうとする主体的に学びに向かう力を涵養するとともに、学習習慣を確立する。 ・実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。 ・自分の考えを自分の言葉で伝える力、仲間と協力して納得解を創る力の育成 ・学ぶことに喜びを感じ、興味や関心をもって、見通しをもち粘り強く取り組める児童の育成 ・ユニバーサル・デザインによるわかりやすい授業、優	・朝学習、放課後未来クラブ、夏季学習教室、家庭学習をリンクさせ、学習習慣の確立 ・はむらの授業指針に基づき、資質・能力を明確にした指導と評価の一体化を図った授業改善 ・自らの問いをもって学習に参加する姿勢を確立し、一単位時間の授業の流れに見通しがもてるよう、教科を超えて授業展開に統一性のある授業を展開する。 ・児童にやさしい教室環境、学習環境、人的環境の3つの視点をもったユニバーサルデザイン化を進める。	・授業と朝学習、各種補習一体化と家庭学習の定着度の向上 ・指導と評価の一体化がされた授業の実施 ・児童が問いを作り出せる課題設定を充実させ、多様な他者とかわることができる授業改善 ・3つの視点に沿ったユニバーサル・デザインによる授業を行っている。	4 3 2 1	・学習習慣が以前より身につけてきた。 ・学ぶ意欲が以前より向上した。 ・自己の能力にあった学習に主体的に取り組むことができた。 ・授業が分かりやすい。	4 3 2 1
	③特色のある教育の推進	・「社会とつながるプロジェクト」のさらなる推進 ・地域にある本物に出会う体験を生かした授業づくり ・リーダーシップを身に付け、自分の行動を正しく選択できる人間力の育成 ・放課後の「未来づくり広場」を活用し、地域人材の支援による学びの充実を図る。	・多様な他者等とつながり双方向性のある協働的な学びの場の確保 ・リーダー・インミーやリーダーシップの木を活用した自己実現への見える化推進 ・学力の底上げや更なる向上をねらった「未来づくり広場」の充実	・多様な他者等とのつながり、協働的な学習環境を積極的に作っている。 ・学級活動や特別の教科道徳を活用し、リーダーシッププログラムを実践し、キャリア・パスポートに蓄積している。 ・学習につながる地域人材を発掘している。	4 3 2 1	・他者とつながることで、自分の考えがより深まった。 ・リーダーシップが身に付き、正しい行動を選択できる。 ・地域人材の活用により、児童が意欲的に学習に取り組むようになった。	4 3 2 1
	④新しい課題に対応した教育の推進	・一人に一つの命を自覚し、新しい生活様式に基づいた、すべての命を守る意識と行動力の育成 ・端末を賢い学習ツールとして自分で選択しながら活用できる力の育成 ・学校図書館の機能の充実と読書活動の活性化	・健康教育、食育推進計画を改善、充実、徹底させる。 ・端末を効果的に活用した授業改善(プログラミング教育、情報モラル教育のす指針と責任ある選択行動に向けた指導)	・すべての命を守る意識と行動力を身に付けさせる。 ・武蔵野情報科年間計画に沿って指導している。 ・読書への関心を高め、常に読みかけの本が常にある。	4 3 2 1	・自他の健康を守るために大切なことを理解している。 ・情報モラルを守って、正しく端末を使用することができた。 ・学年に応じた端末活用が身に付いている。 ・一人月平均3～5冊の本を読んでいる。	4 3 2 1
	⑤人権教育の推進と道徳教育の充実	・心と体の関連性を理解し、様々な欲求やストレス等に対して、適切に対処できる力を育てる。 ・自分ごととして考える道徳の推進 ・特別な教科道徳の評価についての理解促進	・学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的に取り組む ・自己の生活に結びつけた考えの実践化 ・やさしさメッセージや合同挨拶運動を通した言語環境の整備、人権意識の醸成	・学級以外の児童に対しても支援を行っている ・人権尊重、こころの教育、道徳授業を積極的に行っている ・掲示された事例に触れた指導を継続して行っている。 ・校内授業公開や授業参観を2回以上行った。	4 3 2 1	・困ったことがあったときは、大人に相談することができる。 ・正しい言葉遣いを意識して生活することができる。 ・道徳の授業では、自分の考えをもつことができる。 ・振り返りノートに自分ごと化できた記述をしている。	4 3 2 1
多様なニーズに応じた教育の推進	⑥特別支援教育の推進	・障害者理解教育を推進し、障害の有無に関わらず公平性を確保しつつ社会の一員としての基礎を作る。 ・共生社会の形成に向けて、障害者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システムを構築する。	・むさしの学級児童が通常級の混じって活動(なかよし学級制)する機会を増やす。 ・居住地交流や復籍交流を活用し、障害者理解を深める。 ・校内委員会を中心に学校生活支援シート及び個別指導計画を作成し、特別支援教育を組織的に推進する。	・なかよし学級制を活用した交流活動の回数を増やす。 ・なかよし学級の活動の幅を広げる。 ・障害者理解教育を全学級で取り組む。 ・校内委員会を中心に共通理解のもと一人を全職員で支援する。	4 3 2 1	・むさしの学級等の児童と分け隔てなく接することができる。 ・なかよし学級制の活動は楽しい。 ・郊外においても障害のある人に親切にできる。 ・困っている友達がいいたら進んで声をかけることができる。	4 3 2 1
	⑦子供たちが楽しく通える学校の実現	・児童の自己有用感を醸成する ・一人で悩みを抱えない相談体制の充実 ・自他を大切に、共によりよく生きるために児童の内面に根ざした道徳性を育成する。	・年間指導計画に沿って、学年に応じた武蔵野リーダーシップの取り組みを推進する。 ・副担任制を活用し、全学年担任プラス1の相談体制を構築し、浸透させる。 ・問題解決的、あるいは体験を通した発問構成を工夫した道徳授業の推進	・年間指導計画に沿ってむさしのリーダーシップに取り組む。 ・児童の自己有用感が高まり、前向きに取り組む姿がある。 ・気になる様子の児童に対し、すぐに声をかけることができる。 ・児童が自分ごととして参加する道徳授業を実践する。	4 3 2 1	・自分や他者を大切にしている。 ・困ったときに相談できる大人が校内に3人以上いる。 ・「人も自分も環境も大切に」を意識した日常生活の活動や行動ができる。	4 3 2 1
健やかな成長を支える教育環境の整備	⑧児童・生徒理解に基づく指導体制の構築	・児童の気持ちに寄り添った指導の充実 ・一人で抱えず、何事も組織で対応する垣根のない教育の推進 ・心にゆとりをもって児童と接する	・年間計画に沿った含む事故防止研修の充実 ・児童の活躍やよさを共有し合える職員室の構築 ・いつでも誰にでも相談できる職員室 ・定時退勤日の設定	・体罰及び不適切な指導ゼロ ・児童のよさを発見したり、共有することができる。 ・いつもで気兼ねなく相談できる教職員が3人以上いる。 ・心にも時間にもゆとりをもって働くことができる。	4 3 2 1	・体罰調査 0件 ・友達のよさががんばりをみつけることができる。 ・学校にはいつでも相談できる大人がいる。	4 3 2 1
	⑨OJTを中心とした校内研修体制の確立	・OJT研修を中心とした授業力・学級経営力の育成 ・学力向上担当を中心としたOJTの活性化 ・校務分掌やマイスター制度を活用した人材育成	・主幹教諭、主任教諭を中心とした組織的なOJTによる授業改善の推進 ・経験年数を問わず、自分の武器を広めるOJTの拡充 ・副校長、主幹、指導教諭を長とした小グループを作り、マイスター制度として若手に技能の伝達をする。	・OJTによって自己の成長が見られる。 ・OJTの指導者自らが成長し、さらに児童が学ぶことができる。 ・マイスター制度によって、日々の授業や校務が改善した。	4 3 2 1	・学級経営が安定していて、児童が落ち着いている。 ・授業改善が進んでいて、児童が進んで授業に参加している。 ・教職員がゆとりをもって働いているのが分かる。	4 3 2 1
	⑩保護者や地域住民の協力・参画	・情報発信に努め、保護者・地域に開かれた教育課程の実践 ・保護者による学習支援の拡充	・学期に2回以上学校公開を行う。 ・HPを適時更新するとともに、マチコミメールも活用した情報発信を行う。 ・地域人材を活用した授業の充実 ・家庭科支援や生活科見学時の補助等を積極的に依頼する。	・学校の教育活動の様子がよくわかる。 ・HPの適時更新ができています。 ・地域人材を活用することでより活動が充実している ・家庭科支援や生活科見学時などの補助等を積極的に依頼する	4 3 2 1	・学校の話を毎日家族と話をする。 ・保護者、地域の人と勉強するのが楽しい。 ・保護者、地域と勉強することでよりよく分かった。	4 3 2 1
学校の特色	・自分の思いもち、それを言語化する児童の育成 ・言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力の育成 ・正しい起床時間を確保することで、遅刻の減少、充実した1時間目のスタートを切る	・月1回の全校による短作文の取り組み ・年1回の全校による思索コンテストの実施 ・学校図書館に学習・情報センター機能をもたせ、全教育課程で言語活動を充実させる ・グッドモーニング60分の取組の推奨	・書字に対する抵抗感が減り、意欲的に書く児童が増える ・自分の考えを発表する場面を意図的に増やす授業の実践 ・図書館を有効活用した言語活動を行っている ・登校60分前までに起床する有効性を児童、保護者に啓発	4 3 2 1	・文字を書くのが楽しい。 ・自分の思いを伝えるのが楽しい。 ・図書館では、読書以外の勉強をしている。 ・登校60分前に起きることができた。	4 3 2 1	